

# 勝率8割の王者 3季連続



## 関西六大学野球秋季リーグ戦

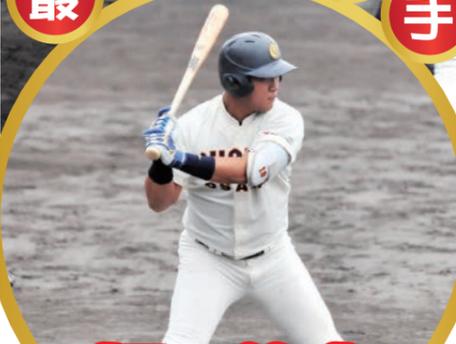
**硬式野球部**  
関西六大学野球は新型コロナウイルス感染拡大の影響で春季リーグ戦が中止となり、無観客試合から始まった秋季リーグ戦。大商大は8勝2敗の勝率8割で3季連続20回目(旧リーグ含む)の優勝を果たした。そして、関西地区大学野球選手権大会に出場したが、惜しくも近畿大学に敗れ、今季は終了となった。



関西六大学野球秋季リーグ戦  
9月5日～10月19日 南港中央野球場他

最優秀選手

最優秀投手



**福元悠真**  
(商3・智辯学園)



**伊原陵人**  
(商2・智辯学園)

リーグ戦は「勝たないといけない」



優勝旗を受ける主将・岡澤

大商大硬式野球部の秋季リーグ戦は、神戸学院大学との対戦で始まった。第一節には勝利したが、第三節の大阪学院大学に3-11で敗れ、第四節でも京都産業大学に1-3で敗れてしまう。

だが今年の秋季リーグ戦は、勝ち点制ではなく勝率制での戦いとなったため、その後の大商大は、試合を勝ち進み、迎えた最終節で大阪経済大学に勝利し、8勝2敗の勝率8割で3季連続20回目(旧リーグ含む)の優勝を果たした。

優勝旗を受け取った主将・岡澤智基(商4・智辯学園)は「先輩方から関西六大学

で優勝し続けているバトンを受け継いで後輩たちへつなぐことができて、正直ほっとしました。特に、勝たないといけない、負けられないという気持ちは下級生の時から常に持っていました」と強い口調で話し、胸を張った。

### 無観客試合

関西六大学野球連盟は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、秋季リーグ戦を第三節まで無観客試合で行った。岡澤は「やはり一番大きな違いは応援がないということですね。グラウンドにいる我々選手の声だけでの試合となるので、指示の声などは通りやすく伝えやすかったです。しかし、応援がないのは寂しいと感じました」と率直な思いを語った。

### 関西地区選手権は初戦敗退

令和2年度秋季リーグ戦に優勝し、関西地区大学野球選手権大会に進んだ大商大。意気込んで初戦に臨んだが、3-6で近畿大学に敗れた。岡澤は「近畿大学に負け、とても悔しい気持ちでいっぱい。キャプテンはチームを勝たせる仕事を初めてキャプテンだと思おうので、負けてしまったのは自分の責任であり、力のなさを痛感

しました。富山監督に本当に申し訳なく思っています」と敗戦の責任を深く受け止めた。一方で、「この悔しい気持ちを常に持ち、社会人野球で活躍し、監督が『俺の教え子や』と胸を張って自慢できる選手になれるように頑張ります」と卒業後の成長の糧にすることも誓っていた。4年生はこの試合で引退となったが、



※文中人名後の( )内は、所属学科学年・出身高校

「常に王者であってほしい。日本一の夢の実現を目指して、頑張れ!!」  
4年生から新チームへ



「関西六大学野球秋季リーグ戦」
優勝(8勝2敗 勝率8割)
〈3季連続20回目(旧リーグ含む)〉
最優秀選手賞 福元 悠真(商3・智辯学園)
最優秀投手賞 伊原 陵人(商2・智辯学園)
ベストナイン(外野手) 戸田 航史(公共経営4・大商大)
担当記者クラブ賞 伊原 陵人(商2・智辯学園)
平古場賞(新人賞) 伊原 陵人(商2・智辯学園)
「第18回大阪市長杯争奪関西地区大学野球選手権大会」
1回戦敗退
「関西六大学野球秋季新人戦」
優勝(8勝2敗 勝率8割)
最優秀選手賞 碓井 雅也(商2・天理)
第53回日本学生野球協会表彰選手(大学)
岡澤 智基(商4・智辯学園)

第25号
1面 硬式野球部
2面 日本拳法部 バレーボール部 カヌー部 他
3面 準硬式野球部 卓球部 サッカー部 ボウリング部 他
4面 バスケットボール部 ウエイトリフティング部 ライフル射撃部 他

日本拳法部

第65回全日本学生拳法選手権大会の男子団体戦が12月6日に... 1回戦から順調に勝利し、2回戦、準々決勝と勝利した大商大は、準決勝で明治大学に2勝5敗で敗北した。そのため3位決定戦に挑むことになったが、見事龍谷大学に勝利し3位と素晴らしい成績を収めた。

主将の大西晴陽(経済4・大商大堺)は、「優勝は出来なかったが、結果には満足している。自分だけではなく一緒に戦った仲間や監督、コーチのおかげで取れた3位です」と振り返った。また、大西が敢闘賞を受賞し、「選ばれるとは思っていなかったの、評価され表彰されたことは嬉しい」と語った。

昨年のベスト16から今回3位と成績を上げた大商大日本拳法部に今後も期待したい。文/大崎恒太郎(公共経営4・大商大堺)

全日本学生拳法選手権大会

男子団体

3位

昨年ベスト16から大躍進!



敢闘賞 大西



「第65回全日本学生拳法選手権大会」男子団体 3位 敢闘賞 大西晴陽(経済4・大商大堺)

第65回全日本学生拳法選手権大会 12月6日 エディオシアター大阪(大阪府立体育会館)

体育会本部 NEWS

お待たせしました!お待たせすぎたのかもしれませんが!!第71代体育会本部の新役員がついに決定いたしました!感染症が猛威を振るう中、自らを顧みずクラブ生をサポートする果敢な三人をここに紹介します!企画・文/東口瑠泉(経営3・和歌山商業)

①高校時代の部活 ②好きなスポーツ ③趣味 ④意気込み



副委員長

委員長

副委員長

西尾 遥大 (経済2・金剛)

- ①サッカー部 ②サッカー ③アニメ、漫画、ゲーム ④よろしくお願いします。

千崎 公輔 (経済2・桜宮)

- ①サッカー部 ②サッカー ③ゲーム、映画鑑賞 ④一年間頑張ります。

萩原 彩実 (経済2・尼崎双星)

- ①アコースティックギター部 ②バレエ ③ネイル ④精いっぱい頑張ります!

新委員長に聞いてみた!

「これからの体育会本部未来図」

第71代は、委員長・副委員長共に2年生という異例の新体制となりました。メリハリを大事にして、いい場を作っていきたいです。コロナ禍ということもあり、イレギュラーなことが多いのでいろいろと不手際があると思います。そして、できることも限られていますが、未熟ながらも我々体育会本部一同精いっぱい頑張っていきますので温かく見守ってくださると幸いです。

関西大学秋季リーグ戦

男子2部 4位

来季に期待

昨年1部から降格となり、2部で戦った関西大学バレーボール連盟秋季リーグ戦。基礎練習を徹底して行い、早い段階から実戦に向けて準備を整え、1セット

とも落とさない気持ちで挑んだ。迎えた初戦の相手は明治国際医療大学。意気込みとは裏腹に第1セットを落としたが、その後は気持ちを切り換え、調子を取り戻して勝利した。



関西大学バレーボール連盟秋季リーグ戦 10月3日~11月8日 びわこ成蹊スポーツ大学他

馬場、弘中が個人賞受賞

2戦目、3戦目と連勝し、4戦目は大商大と同じくこまで全勝の大阪学院大学と対戦。フルセットまで持ち込んだが、準決勝は組8着。決勝への出場を逃し、かなり悔しい結果に終わった。「夢をかなえるための数少ないチャンスをものにできなかった」と悔しさをあらわにすると同時に、「次のカンカレ(関西学生カヌー選手権大会)では必ず結果を残したい」と決意を感じさせるコメントを残した。



「関西大学バレーボール連盟男子秋季リーグ戦」2部 4位(3勝3敗) スパイク賞 馬場 真一(商3・市立尼崎) ブロック賞 弘中 智也(商3・岡山山商業)

市立尼崎)は、「個人賞では満足できない。チームとして1部で結果を残したい」と話し、気持ちは来季を見据えている。これからの活躍を期待したい。文/久保直暉(商1・名張青峰)



学生記者の勝手に MVP

カヌー部 木下駿選手

選手1名!? 木下さんにインタビュー!!

現在カヌー部は、選手で主将の木下駿(商2・奈良情報商業)とマネージャーを務める主務の大塚陽日(商2・神港橋)の2名で活動している。木下は、高校からカヌーを始め、奈良県代表としてインターハイや国体に出場経験がある。企画・文/千崎公輔(経済2・桜宮)

「練習場所は奈良」

木下は大学から車で1時間ほどかかる奈良県桜井市の倉橋溜池で練習を行っている。高校時代と同じ場所で高校のボートを借りて汗を流す。ここまで時間をかけても、ボートに乗れる時間は1時間ほどだというのだから驚きである。そのため、普段の練習は大学での筋力トレーニングが主流になっている。

「カヌーにかける思い」

木下はカヌーのことを「自分を変えてくれたもの」と話し、「中学時代は帰宅部で何もしていなかった自分が高校でカヌーと出会うことによって人生が大きく変わった」と言う。そして自分を変えてくれたカヌーや恩師に恩返しをするためにも結果を残し、カヌーの指導者になると決めた。最後に彼は、「カヌーは自分の夢を支えるもの」と熱く語った。

「教職課程との両立」

木下は高校時代の恩師の定年退職に近いことを知り、「自分も奈良県の教師になってカヌーを教えたい」という思いが強くあり、大学では教職課程と部活との両立に励んでいる。教職科目の勉強は大変だが、カヌーをすることが心の支えとなり両立できていると語った。

「マネージャーの存在」

選手一人の木下をマネージャーとして支える心強いサポーターがいる。主務の大塚だ。木下が大会に行くときには同行し、動画を撮り分析をしたり、時にはよき友として会場で木下の話し相手になったり、どの場面においても木下を支える存在となっている。木下は彼に対して常に最大級の感謝の気持ちを持っている。



「悔いの残る石川大会」

9月に石川県小松市で行われた第56回全日本学生カヌー選手権大会の「K-1 1000m」に出場した木下。この大会はコロナ禍で出場選手が例年よりかなり少なく、木下は結果を残すチャンスだと考えていた。予選を組4着で通過したが、準決勝は組8着。決勝への出場を逃し、かなり悔しい結果に終わった。「夢をかなえるための数少ないチャンスをものにできなかった」と悔しさをあらわにすると同時に、「次のカンカレ(関西学生カヌー選手権大会)では必ず結果を残したい」と決意を感じさせるコメントを残した。

※文中人名後の( )内は、所属学科学年・出身高校

# 阪神六大学リーグ優勝回数記録を更新

**準硬式野球部**  
コロナ禍により春季リーグ戦が中止になった準硬式野球部。昨年3位で終わった阪神六大学準硬式野球部連盟秋季リーグ戦に挑んだ。

9月9日から始まった開幕戦は、大阪教育大学に0-11の5回コールド負けで黒星スタートとした。順調な滑り出しとはいかなかったが、第2戦、関西大学人間健康

学部にて2-1で勝利し、勢いに乗ることができ、第7戦まで6連勝した。

8戦目は大阪府立大学に8-11で敗北したが、その後は勝利を重ね、最終戦の大阪市立大学戦では先発の玉置翔太(経営3・日本文理)が5回無失点と安定したピッチングで17-0のコールド勝ちを収め、初戦コールド負けの屈辱を晴らした。

最終結果は、8勝2敗の成績で5季ぶりに優勝旗を手にした。主将の松山豪大(公共3・立正大学)は、2019年度の3部Bリーグで2位という結果で終わった大商大卓球部は、関西学生卓球秋季リーグ戦3部Aリーグに挑んだ。結果は5勝全勝で勝利を収め、3部Aリーグ優勝を果たし、リーグ優勝決定戦に挑戦する権利を得た。

「阪神六大学準硬式野球部連盟秋季リーグ戦」  
優勝<8勝2敗> 67回目

最優秀選手賞 松山豪大(公共3・立正大学) 新人王 松室歳唯(公共1・高取国際)

ベストナイン(投手) 玉置翔太(経営3・日本文理) ベストナイン(捕手) 松山豪大(公共3・立正大学) ベストナイン(遊撃手) 松室歳唯(公共1・高取国際) ベストナイン(外野手) 藤坂文也(公共2・桜宮)

「第72回関西地区大学準硬式野球選手権大会」  
ベスト4

「第29回関西地区大学六リーグ対抗準硬式野球大会」  
阪神六大学選抜チーム  
3位<2勝2敗>

選抜メンバー/松山豪大(公共3・立正大学)・玉置翔太(経営3・日本文理)・吉村拓真(公共3・海星)・竹田 稔冬(商3・立正大学)・藤坂文也(公共2・桜宮)・松室歳唯(公共1・高取国際)・市村海知(経営1・神港橋)



阪神六大学準硬式野球部連盟秋季リーグ戦  
9月9日～10月7日 住之江公園野球場他

2019年度の3部Bリーグで2位という結果で終わった大商大卓球部は、関西学生卓球秋季リーグ戦3部Aリーグに挑んだ。結果は5勝全勝で勝利を収め、3部Aリーグ優勝を果たし、リーグ優勝決定戦に挑戦する権利を得た。

リーグ優勝決定戦ではBリーグで全勝を収めた京都大に苦戦を強いられるも3-2で勝利し、3部リーグ優勝を果たした。また、個人賞として池田光太郎(経済3・木更津総合)が敢闘賞を受賞した。

主将の小代朝日(商4・浪速)は「最後の大会を優勝で終わることができ、満足している」と語った。この勢いで来季も頑張りたい。文/山口達也(公共3・星翔)

# 関西学生秋季リーグ戦 3部 優勝



関西学生卓球秋季リーグ戦  
11月22-23・26日 いきいきランド交野他

「第62回関西学生卓球新人大会」  
男子シングルス  
3回戦敗退 小代朝日(商4・浪速)  
3回戦敗退 若本久典(商3・和歌山商業)  
3回戦敗退 内藤拓也(公共3・伊予農業)  
3回戦敗退 大迫辰弥(経済2・浪速)  
3回戦敗退 新井 統也(公共2・近畿大学附属広島高等学校福山校)  
3回戦敗退 北川大地(公共2・興國)  
3回戦敗退 神谷 昊輝(経済1・滝川第二)  
3回戦敗退 渡邊 拓己(商1・添上)

「第89回関西学生卓球選手権大会」  
男子シングルス  
4回戦敗退 池田光太郎(経済3・木更津総合)

「関西学生卓球秋季リーグ戦」  
3部A 優勝<5勝0敗>  
3部 優勝(男子3部校優勝決定戦で勝利)  
敢闘賞 池田光太郎(経済3・木更津総合)

「第6回オール西日本大学卓球選手権大会(個人の部)」  
男子決勝トーナメント  
2回戦敗退 池田光太郎(経済3・木更津総合)  
1回戦敗退 内藤拓也(公共3・伊予農業)

# 2部Bリーグ後期 3位 惜しくも昇格ならず

2020年度第98回関西学生サッカーリーグは新型コロナウイルスウィルス感染拡大の影響を受け、前期は中止となり後期のみの開催となった。1部・2部リーグ(後期)は前期のブロック編成のまま行われた。大商大は前回の第97回では惜しくも2部Bリーグへ降格してしまい、その悔しさを胸にリーグ戦に挑んだ。

初戦から神戸国際大に9-1と好成績で勝利した。その後、第6節まで負けなしという結果になった。今年度は、新ナウイ

という快進撃を見せた。しかし、第7節で惜しくも1敗してしまいが、その後は負けなしでリーグ戦を終える形となった。結果は、8勝1敗2分となった。勝ち点では2位だったが、新型コロナウイルスの影響により未消化試合が生じたため、勝ち点により未消化試合が3部スタートとなる。

「第98回関西学生サッカーリーグ(後期)」  
2部Bリーグ 3位<8勝1敗2分>  
優秀選手賞(MF) 上原 真尋(経営3・初芝橋本)  
優秀選手賞(FW) 橋本 啓吾(公共経営4・阪南)

「第98回関西学生サッカーリーグ(後期)」  
9/13(日)～12/13(日) 大商大第1グラウンド他

「第59回関西学生ボウリング秋季個人リーグ戦」  
準優勝 山崎 陸斗(商3・西野田工科)  
6位 佐々木 哲平(経営3・興國)  
8位 宮本 倅樹(経済3・高知商業)  
ハイシリーズ賞 山崎 陸斗(商3・西野田工科)

「文部科学大臣杯第58回全日本大学ボウリング選手権大会」  
男子の部5人チーム戦  
11位 田中 海斗(経営3・堺西)  
堂脇 翔太(公共3・東淀川)  
佐々木 哲平(経営3・興國)  
宮本 倅樹(経済3・高知商業)  
山崎 陸斗(商3・西野田工科)

「第57回関西学生新人ボウリング選手権大会」  
13位 黒川 優貴(経済2・大商学園)

「第59回関西学生ボウリング選手権大会」  
男女混合2人チーム戦 7位 商大B  
男女混合2人チーム戦 15位 商大A  
男子5人チーム戦 4位 商大A  
男子予選 11位 堂脇 翔太(公共3・東淀川)  
男子予選 12位 佐々木 哲平(経営3・興國)  
男子予選 17位 宮本 倅樹(経済3・高知商業)  
男子予選 22位 田中 海斗(経営3・堺西)  
男子マスターズ戦 9位 堂脇 翔太(公共3・東淀川)  
男子マスターズ戦 13位 佐々木 哲平(経営3・興國)  
大学別総合 6位

「関西学生個人ボウリング選手権大会」  
11位 山崎 陸斗(商3・西野田工科)  
19位 堂脇 翔太(公共3・東淀川)  
21位 宮本 倅樹(経済3・高知商業)  
24位 佐々木 哲平(経営3・興國)  
34位 田中 海斗(経営3・堺西)

「第59回関西学生ボウリング秋季個人リーグ戦」  
10月3日～11月21日 MKボウル上質茂他

「秋季リーグ戦 準優勝」  
10月3日から始まった第59回関西学生ボウリング秋季個人リーグ戦。山崎陸斗(商3・西野田工科)が見事準優勝に輝いた。また、1、3ゲーム、4、6ゲームと3ゲームをひとつの単位(シリーズ)とした合計が最高得点の賞「ハイシリーズ賞」も獲得する。山崎は、「日々の努力の成果」と練習の大切さを語った。ボウリング部と山崎の今後の活躍に期待する。

「秋季リーグ戦 準優勝」  
文/前原七波(経済1・金蘭会)

「秋季リーグ戦 準優勝」  
文/前原七波(経済1・金蘭会)



優秀選手賞  
笠井大空

# 2部昇格1シーズンの快挙



# 9年ぶり復帰

# 1部昇格

## 関西学生バスケットボールリーグ戦 〈5勝2敗〉



敢闘賞  
武本祐ルイス

## 男子2部リーグ

# V 準

関西学生バスケットボールリーグ戦  
9月12日～10月11日 和歌山ビッグウエーブ他

**バスケットボール部**  
 昨季、関西学生バスケットボールリーグ戦の3部リーグで優勝し、2部昇格を果たした大商大は、今季は2部リーグで戦った。初戦は、大阪大学に76・72と僅差で勝利を収めた。続く2戦目は敗れたが、3戦目からは調子を取り戻し、3連勝と順調に勝ち星を並べた。

最終戦も甲南大学に85・57と快勝。最終成績を5勝2敗とし、優勝は逃したが準優勝を果たし、9年ぶりの1部リーグへ昇格を決めた。

優秀選手賞に選ばれた主将の笠井大空(公共3・東住吉総合)は「入学時から目標にしていた1部リーグで戦いたいという気持ちで臨んだ」と話し、目標を達成したことに対して「満足することなく高みを目指す。来年は、最後の年になるので悔いは残したくない」と力強く語った。

2部昇格からわずか1シーズンで1部復帰という快挙を成し遂げたバスケットボール部。来季1部での活躍を大いに期待したい。

文/加藤柚奈(経済1・都城商業)

「関西学生バスケットボールリーグ戦」  
2部 準優勝(5勝2敗) 1部昇格  
敢闘賞 武本 祐ルイス(経営2・福井)  
優秀選手賞 笠井 大空(公共3・東住吉総合)

「第59回西日本学生ウエイトリフティング選手権大会」	55kg級 優勝 山口 颯太(経済2・大阪産業大学附属)
81kg級 5位 太田 頼暉(公共1・柴田)	
96kg級 準優勝 吉川 敦啓(公共3・須磨友が丘)	
109kg級 4位 田神 一真(公共3・加世田常潤)	
「第19回西日本学生女子ウエイトリフティング選手権大会」	55kg級 6位 板東 友香(公共経営4・板野)
59kg級 4位 弓岡 郁菜子(公共2・須磨友が丘)	
81kg級 3位 得平 美琴(公共1・屋久島)	
「第66回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会」	女子49kg級 7位 板東 友香(公共経営4・板野)
「第66回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会(女子)」	12/5(金)～6(日)
49kg級 6位 板東 友香(公共経営4・板野)	
59kg級 9位 弓岡 郁菜子(公共2・須磨友が丘)	
59kg級 14位 佐川 未来(公共2・板野)	
81kg級 6位 得平 美琴(公共1・屋久島)	

### 広報部長の知恵袋

意外と知らない大学野球！  
準硬式野球と硬式野球の違いとその魅力

まず準硬式野球と硬式野球の主な違いはボールとバットです。準硬式のボールは、表面が軟式と同じゴムで中は硬式と同じ糸巻きたコルクです。バットは、硬式が木製バットであるのに対し準硬式野球は金属バットも使用が可能です。

また準硬式は、硬式の本格的な野球をしている感覚があり、硬式よりボールが柔らかく軽いので、けがをしにくいといった良さもあります。

ルールもほぼ同じで硬式野球への競技転向がしやすいのも魅力です。実際に準硬式からプロ野球選手が複数輩出されています。また、準硬式野球の強豪大学では甲子園経験者が多数活躍しており、見応えのある試合が観戦できます。今後も私は準硬式野球に注目していきたいと思えます。

企画・文/白石雄暉(経済3・星翔)

**ウエイトリフティング部**  
 9月22日に第59回西日本学生ウエイトリフティング選手権大会と第19回西日本学生女子ウエイトリフティング選手権大会が開催された。

今大会では55kg級で山口颯太(経済2・大阪産業大学附属)が優勝するという快挙を見せた。その他にも96kg級で吉川敦啓(公共3・須磨友が丘)が準優勝、女子81kg級で得平美琴(公共1・屋久島)が3位という結果を残した。

主務の板東友香(公共経営4・板野)はこの結果に対して「今年は特殊な状況(コロナ禍)だったこともあり、部内でも調整がうまくいった人とうまくいかなかった人などに分かれ、大会で満足のいく結果を残せなかった人もいます。しかし、部内全体としては大会を重ねるごとに調整がうまくいった人が増えてきたので、次回の大会では満足のいく結果を残したい」と今後に向けた意気込みを見せた。

大会自体の開催が危ぶまれていた中、開催を信じて努力を積み重ねた大商大ウエイトリフティング部のさらなる活躍に期待が高まる。

文/山口祐史(経営2・神港橋)

## さらなる活躍に期待!



第59回西日本学生ウエイトリフティング選手権大会  
第19回西日本学生女子ウエイトリフティング選手権大会  
9月22日 ベイコム総合体育館(尼崎市記念公園)

# V 山口

## 西日本学生選手権

得平 3位  
吉川 準V



第31回西日本学生スポーツ射撃選手権大会  
令和2年9月4日(金)～9月6日(日) 国体記念スポーツセンター(熊野町)

「第31回西日本学生スポーツ射撃選手権大会」	10mAR60 22位 廣橋 詩音(経営3・京都廣学館)
10mAR60 41位 林 志剛(経営4・育英)	
「第67回秋季全関西学生ライフル射撃選手権大会」	10mAR60 17位 廣橋 詩音(経営3・京都廣学館)
10mAR60 36位 林 志剛(経営4・育英)	
「全日本大会学生スポーツ射撃選手権大会 第67回男子総合」	10mAR60 77位 廣橋 詩音(経営3・京都廣学館)
10mAR60 137位 林 志剛(経営4・育英)	

## 西日本学生スポーツ射撃選手権大会

### 奮闘及ばずライフル射撃部

ライフル射撃「10mエアライフル60」は、1時間15分の時間内(試射15分、本射1時間)にエアライフルで10m先の標的に立射姿勢で60発射撃し得点を競う競技。ライフル射撃部は、現在2名で活動している。

今年度は、9月に開催された西日本学生スポーツ射撃選手権大会に昨年のリベンジを果たすべく挑んだ。しかしコロナ禍で自粛期間が長かったため、思うように結果が伸びず廣橋詩音(経営3・京都廣学館/写真右)が活躍できなかった。

今年度は、9月に開催された西日本学生スポーツ射撃選手権大会に昨年のリベンジを果たすべく挑んだ。しかしコロナ禍で自粛期間が長かったため、思うように結果が伸びず廣橋詩音(経営3・京都廣学館/写真右)が活躍できなかった。

主将の林は「コロナの影響で満足に練習できていない状態だったので悔しい」と胸の内を明かした。この悔しさを糧に次こそは上位入賞を成し遂げてほしい。

文/安井詩織(公共3・北摂三田)

大阪商業大学 課外活動支援課

発行 編集 印刷 共同精版印刷株式会社

### 我楽多

今回、初めて新聞を作ってみて、新聞作りは学ぶことがたくさんあるなと感じました。新聞の文章を考えるだけでなく、各クラブの情報収集や選手へのインタビューなど、多くの作業が必要で本当に難しい仕事でした。しかし、とても楽しく、学ぶこともたくさんあったので、良い経験ができたと思います。次回、読者の皆さまにとっさら読みやすい文章になるように工夫していきたいです。(加藤)

▼今号では準硬式野球部を担当させていただきました。今回は、コロナ禍のため無観客や大会中止などがあり、発行できなかったり、発行することができず、残念な結果となってしまいました。また、広報部長としては今号で最後の新聞となるので、切り切れたいと思います。(白石)

▼私は、2年生の21号から3年生の24号まで1面の硬式野球部を担当しましたが、今回は、後輩の指導と卓球部を担当しました。これで私は4年生最後の記事を納め、納得のいくいく記事を書けたと思います。私はこれで卒業ですが、後輩にはこれからも頑張ってください。(山口達)

※文中人名後の( )内は、所属学科学年・出身高校